

政策サイクル推進地方議会フォーラム キックオフ・シンポジウム

Japan Productivity Center

政策サイクル推進地方議会フォーラム 発足について

2022年7月29日

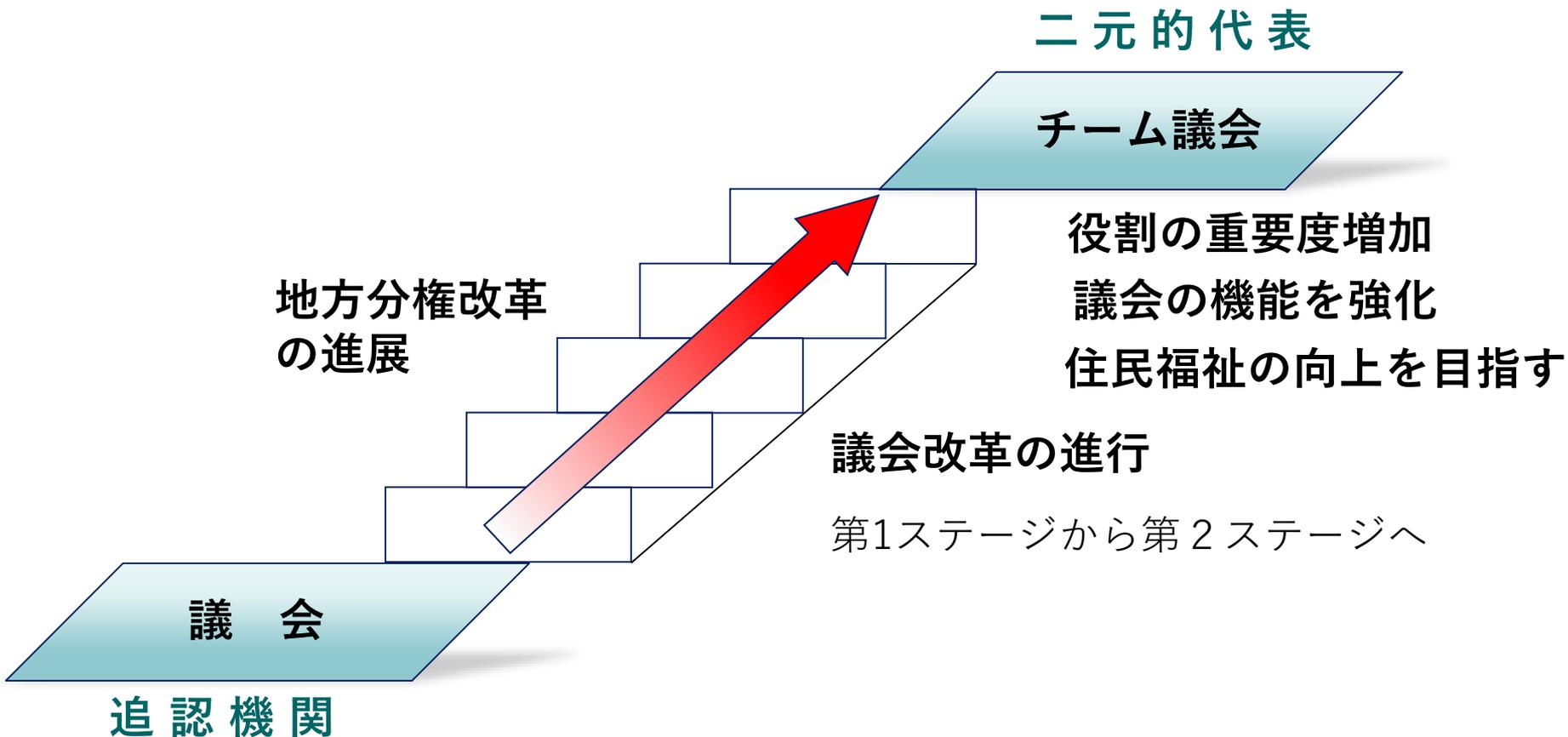


公益財団法人 日本生産性本部

JAPAN PRODUCTIVITY CENTER

1. 本フォーラム発足の背景

●ますます重要度を増す地方議会

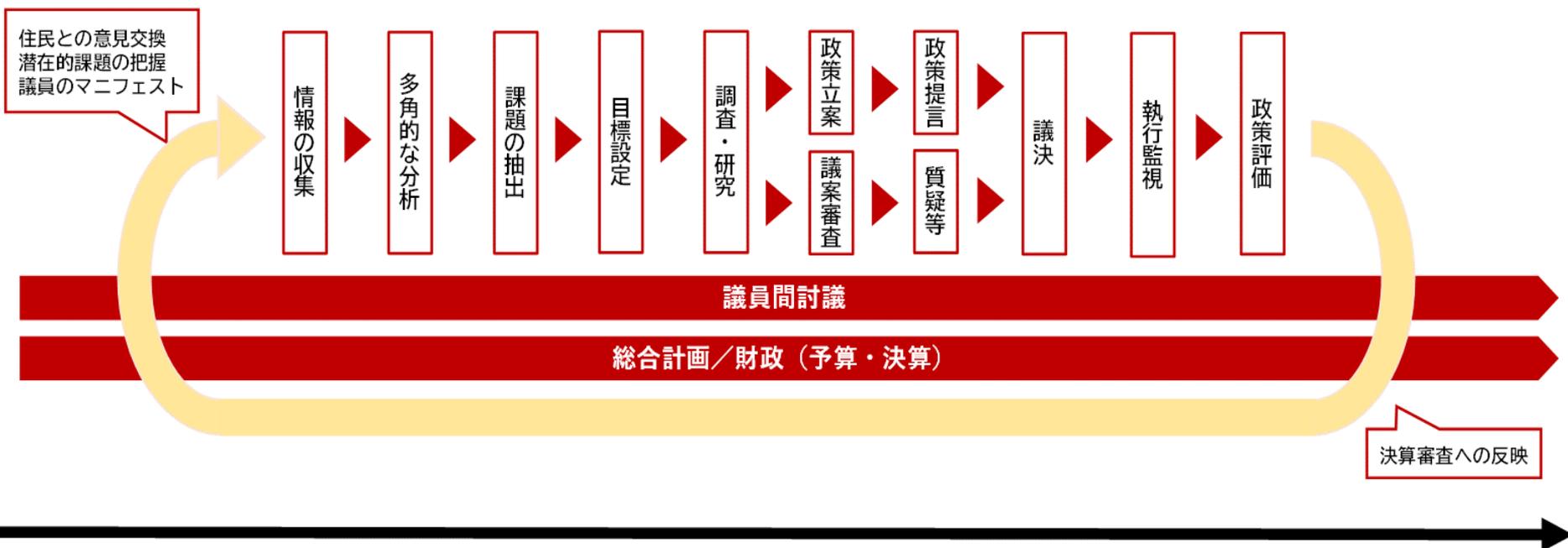


2. 議会からの政策サイクル

● 「善き政策」には「善きプロセス」がある

議会からの政策サイクル = 住民への価値を生む

議会活動の基本プロセス



定例会（会期）、1年（年間）、2年（中間）、4年（通任期）、他

3. 研究会からフォーラムへ

● 地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会を2016年から開催し、2022年7月に政策サイクル推進議会フォーラムに発展

顧問：北川正恭 早稲田大学 名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問

座長：江藤俊昭 大正大学 社会共生学部 教授

メンバー：会津若松市議会、あきるの市議会
 飯田市議会、犬山市議会、大津市議会
 可児市議会、甲府市議会、那覇市議会
 西脇市議会、船橋市議会、武蔵野市議会
 陸前高田市議会 ほか



北川正恭顧問



江藤俊昭座長

主催：公益財団法人 日本生産性本部

共催：早稲田大学マニフェスト研究所



4. 本フォーラムの活動目的

「議会からの政策サイクル」の構築と作動を推進し、住民福祉の向上に寄与する。

そのために

- ① 「地方議会成熟度モデル」を活用した議会改革の取り組みを普及する。
- ② 「地方議会成熟度モデル」の普及につながる場づくりを行う。

議員、議会事務局職員、研究者等が集い学び合う場

5.フォーラムの体制

顧問 北川正恭 早稲田大学名誉教授
早稲田大学マニフェスト研究所顧問

座長 江藤俊昭 大正大学社会共生学部教授

アドバイザー (※印は運営委員)

松崎	新	会津若松市議会議員	※目黒章三郎	会津若松市議会議員
井坪	隆	飯田市議会議長	和泉 忠志	飯田市議会事務局長
※清水	克士	大津市議会局長	※川上 文浩	可児市議会議員
※前泊	美紀	那覇市議会議員	林 晴信	西脇市議会議長
福田	利喜	陸前高田市議会議長		
佐藤	淳	青森大学社会学部教授	※津軽石昭彦	関東学院大学教授
林	紀行	日本大学教授	※千葉 茂明	月刊ガバナンス編集主幹
※中道	俊之	早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員		

議員、議会事務局職員、研究者等のプラットフォーム

- 運営委員会**：運営委員で構成、活動の方向性等を検討決定。
- 年次大会**：議会改革や成熟度評価モデルの実践事例の発表や分科会の活動成果等を発信。
- 分科会**：具体的なテーマを取り上げて議論し、探究を行うメンバーの活動の場。
- 勉強会**：議会改革全般や政策サイクル等を学ぶための学習の場。フォーラムメンバー以外の議員や議会事務局の方の参加者も募る（有料）。

7. 分科会のテーマ・世話人

① 決算・予算審議、議選監査と政策サイクル

政策サイクルの観点から、決算・予算審議の充実と連動、監査員制度について検討。

世話人：川上文浩氏（可児市議会議員） 目黒章三郎氏（会津若松市議会議員）
前泊美紀氏（那覇市議会議員）

② 広聴広報活動

住民からの意見聴取や議会活動の広報発信のあり方、主権者教育について検討。

世話人：伊坪 隆氏（飯田市議会議員） 福田利喜氏（陸前高田市議会議長）
林 晴信氏（西脇市議会議長）

③ 議会事務局

政策サイクルを構築・作動させるための議会事務局の役割や機能について検討。調査研究活動をサポートする議会図書室の活用も検討。

世話人：和泉忠志氏（飯田市議会事務局長） 清水克士氏（大津市議会局長）
千葉茂明氏（月刊ガバナンス編集主幹）
中道俊之氏（早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員）

●政策サイクル推進地方議会フォーラム

- ・ 地方議会議員、議会事務局職員ならどなたでも参加いただけます。
- ・ 運営分担金は、議員は20,000円／年（税込）
事務局職員は5,000円／年（税込）。
- ・ 「議会からの政策サイクル」について、
学び、実践し、住民福祉の向上を一緒に
めざしましょう！
- ・ お問い合わせ・お申し込みは下記まで。

gikai@jpc-net.jp